

科目名 (科目番号)	臨床医学概論 (時間割参照)	教員名	大越 教夫	学科等	診療放射線	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	木3,4 B309研究室	
授業概要	本講義では、病理学で学んだ疾病の基礎知識に加え、標準的な治療から最新の臨床知見をも学ぶことで、さまざまな疾病の理解を深め、診療放射線技師として、将来、診療・研究などの現場において必要な医学的知識を習得することを目標とする。具体的には以下の事柄について学ぶ。①診療の実際、②疾病各論(呼吸器系、循環器系、消化器系、肝胆膵系、代謝・骨代謝系、内分泌系、腎泌尿器系、脳・神経系、血液系、膠原病・アレルギー、感染症、整形外科疾患、産婦人科、感覚器系など)。							
目的・目標	目的:臨床医学の病態、症状、診断、治療法を学び、臨床医学の診断や治療における画像診断の意義、有用性を理解する。 目標:①各臓器別の主要な疾患の概略を説明できる。 ②主要な疾患の症状、病態、画像診断を理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション・病態の基礎、呼吸器疾患（１）	到達目標:臨床医学における基本的な診療、呼吸器疾患の病態を理解する。 学習内容:症候論、呼吸器疾患の病態について学習する。					
	2	呼吸器疾患（２）	到達目標:肺循環疾患、胸膜、縦隔の腫瘍を説明できる。 学習内容:肺循環疾患、胸膜、縦隔の腫について学習する。					
	3	循環器疾患（１）	到達目標:心臓の主要な疾患を説明できる。 学習内容:心臓の疾患について学習する。					
	4	循環器疾患（２）	到達目標:血管系の主要な疾患を説明できる。 学習内容:大動脈、末梢血管の疾患について学習する。					
	5	消化器疾患	到達目標:消化管の主要な疾患を説明できる。 学習内容:食道、胃十二指腸、小腸・大腸の疾患について学習する。					
	6	肝・胆・膵疾患	到達目標:肝胆膵の主要な疾患を説明できる。 学習内容:肝胆膵の疾患について学習する。					
	7	代謝・内分泌疾患（１）	到達目標:代謝・内分泌性の主要な疾患を説明できる。 学習内容:糖尿病、脂質異常症、痛風、下垂体について学習する。					
	8	代謝・内分泌疾患（２）	到達目標:内分泌性の主要な疾患を説明できる。 学習内容:下垂体、甲状腺、副腎疾患について学習する。					
	9	腎泌尿器疾患	到達目標:腎泌尿器の主要な疾患を説明できる。 学習内容:腎、尿路、体液異常の疾患について学習する。					
	10	脳・神経疾患（１）	到達目標:脳神経の主要な疾患を説明できる。 学習内容:脳血管障害、変性・脱髄、脳腫瘍について学習する。					
	11	脳・神経疾患（２）	到達目標:脳神経の主要な疾患を説明できる。 学習内容:脊髄・末梢神経・筋の疾患について学習する。					
	12	血液・膠原病・アレルギー疾患	到達目標:血液、膠原病・アレルギーの主要な疾患を説明できる。 学習内容:血液、膠原病・アレルギーの疾患について学習する。					
	13	感染症	到達目標:感染症の主要な疾患を説明できる。 学習内容:細菌・結核・真菌・ウイルス・原虫・蠕虫等の感染症について学習する。					
	14	運動器疾患、女性生殖器疾患	到達目標:主な運動器疾患、子宮・乳腺疾患を説明できる。 学習内容:運動器疾患、子宮・乳腺疾患について学習する。(病理学plus使用)					
	15	感覚器疾患、まとめ	到達目標:主な眼科、耳鼻科、皮膚疾患を説明できる。 学習内容:眼科、耳鼻科、皮膚疾患について学習する。(病理学plus使用)					
成績評価の方法・基準	期末試験（毎授業の小テストを含む）100%（対面、オンライン共通）							
教科書	なるほどなっとく！内科学		浅野 嘉延（編集）			南山堂 改訂第3版第2刷 (2024/2/5)		
参考図書	なるほどなっとく！ 病理学plus 病態形成の機序と各器官の疾病の特徴		小林 正伸 著			南山堂 第1版2刷(2024/1/30)		
教員からのメッセージ	臨床医学は、解剖学、生理学、生化学が学習の基礎になる。基本的事柄を復習しておく。臨床医学を学ぶためには、各臓器別・系統別の疾患の病態がイメージできることが重要である。自己学習（復習）の時間を十分にとってほしい。病院で勤務した医師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							